

目標達成計画

作成日：平成27年 3月 8日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	認知症生活介護に必要な知識が不十分と感じている。 (認知症について、緊急時の対応)	認知症生活介護に必要な知識と技術の向上に努力できる。	・事業所内で勉強会を開催していく ・研修会への個人参加を順次すすめていく	12ヶ月
2	6.7.8	認知症生活介護に必要な制度の理解が不十分である。 (介護保険、身体拘束、虐待防止、権利擁護等)	認知症生活介護の必要な制度の基礎知識を理解する。	・事業所内で勉強会を開催していく ・研修会への個人参加を順次すすめていく	12ヶ月
3	24	利用者一人ひとりの思いや意向を把握し情報を共有できていない。	職員全体がご利用者さんの全体像を共有し日々ケアに活かせる。	全体像をケアプラン、介護計画に活用していく	12ヶ月
4	26	個別性のあるケアプランと介護計画の作成が不十分である。	個別性のある介護ケアプラン、介護計画の作成と実施、評価ができる。	・ケアプランと介護計画の書式を検討し、職員との話し合いのもと、作成、評価していく ・モニタリングシートの作成	12ヶ月
5	34	利用者への安全対策の徹底をする。(転倒・事故防止等)	転倒事故防止ができる。	・マニュアルの徹底と見直し ・ヒヤリハット、事故報告の徹底 ・再発防止対策の徹底	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。